

2023年度活動内容の報告

2024年度事業計画の紹介

2024年6月27日

一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス事務局

2023年度活動内容の報告

2023年度の活動項目

- ① モビリティ・イノベーション連絡会議における文理融合学術ネットワーク構築・発展
- ② 分野横断型政策や取り組みの検討・提案
- ③ 多様な産学官連携機会を生み出すワンストップ窓口として活動
- ④ 国際会議の企画・運営を通じた国際連携研究の促進
- ⑤ 研究・技術開発を社会の行動変容へつなげる広報活動
- ⑥ 若手人材の育成を狙いとしたコンテスト等の開催
- ⑦ 法人としての活動体制等の強化

① モビリティ・イノベーション連絡会議における文理融合学術ネットワーク構築・発展

<2022年度活動報告会・交流会の開催>

- 2023年5月30日に、内閣府、警察庁、デジタル庁、総務省、経済産業省、国土交通省総合政策局、都市局、道路局からのオブザーバ参加も含め、計54名の参加を得て機械振興会館において2022年度活動報告会・交流会を開催
- 活動報告会後には、交流会（懇親会）も開催し、特別会員各社からの事業紹介、会員同士の個々の意見交換等、有意義なネットワーキングの場を提供



② 分野横断型政策や取り組みの検討・提案

< 「SIP第3期スマートモビリティプラットフォームの構築」事業に関する活動 >

- 「SIP第3期スマートモビリティプラットフォームの構築」の公募開始情報を賛助会員向けにNewsletterで共有するとともに、応募にあたっての賛助会員間の連携支援につき周知 (7/5)
- 「SIP第3期スマートモビリティプラットフォームの構築」の公募に対し、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構と共同提案・応募 (8/10)
- 「SIP第3期スマートモビリティプラットフォームの構築」の審査ヒアリングに参加 (9/5)
- 東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構と共同提案した「SIP第3期スマートモビリティプラットフォームの構築」事業の採択通知を受領 (9/28)
- NEDOとの業務委託契約を締結 (12/7)

③ 多様な産学官連携機会を生み出すワンストップ窓口として活動

< 現地研究会の開催 >

- 学会会員：3会員（8名）、特別会員：1会員（2名）、行政・事業者団体等会員：1会員（1名）の参加を得て、2023年8月に現地研究会を催行
- 北海道上士幌町及び更別村における自動運転バス運行サービス、ドローン運送サービス等について、現地で視察・試乗等を実施
- 現地関係者との意見交換を行い、技術面、事業面、社会面等における成果及び課題について理解を深めるとともに、今後、モビリティ・イノベーションの社会実装に向け必要な研究等について、参加会員による議論を実施



更別村サテライトオフィスでの説明



更別村自動運転バスの試乗



SkyHub視察



上士幌町役場での意見交換

③ 多様な産学官連携機会を生み出すワンストップ窓口として活動

<SIP第3期スマートモビリティプラットフォームの構築における国際連携キックオフシンポジウムの開催>

- SIP第3期事業の受託を受け、ハイブリッド方式でシンポジウムを開催。約100名（現地会場：41名、オンライン視聴：58名）が参加
- シンポジウムの第1部では、「SIP第3期スマートモビリティプラットフォームの構築」の実施主体のうち、5つのコンソーシアムの取り組み概要や、国際連携の展望・可能性についての講演・ディスカッションを実施
- 第2部では、10月に開催されたITS世界会議を中心とした海外調査報告、及び11月に本法人主催で開催したMobility Innovation Week Japanの報告を行い、世界的なモビリティのデジタル化及び国際的な研究連携の状況等について情報共有を実施



④ 国際会議の企画・運営を通じた国際連携研究の促進

＜国際連携委員会の立上げと「Mobility Innovation Week Japan 2023」の企画・運営＞

- SIP-adusにおいて構築された国際連携ネットワークをレガシーとして承継し、また自動運転以外の分野における連携へと拡張すべく、2022年まで9年間にわたり継続されたSIP-adus Workshopを継承する「Mobility Innovation Workshop」を中心に、複数の関連する国際会議、技術ツアー等の機会を提供する「Mobility Innovation Week Japan」を企画・運営
- 「Mobility Innovation Week Japan」の企画・運営にあたり、法人内に国際連携委員会を立ち上げ、委員長の白土委員長をはじめとする有志会員を中心に、国内外関係者との事前調整、登壇依頼等を実施
- 11月14-15日に開催したMobility Innovation Workshop 2023には海外からの参加者59名を含む、合計148名の専門家・関係者が参加。安全性評価等の技術領域のみならず、社会受容性、ビジネスモデル等の非技術領域の議論・交流も数多く実施



⑤ 研究・技術開発を社会の行動変容へつなげる広報活動

- 2022年度活動報告書を作成し、2023年5月22日に会員向け専用ページにおいて共有、概要版を2023年6月1日に本法人ウェブサイト上で公表
- また、3件のプレスリリース（自動化モビリティのビジネスコンテストM-BIC2023 関連2件、Mobility Innovation Week Japan 2023 関連1件）を実施
- 本法人ウェブサイト上で、13件の「お知らせ」を掲載
- 会員向けに16件の「Newsletter」を発行

⑥ 若手人材の育成を狙いとしたコンテスト等の開催

- 22年度に引き続き、第2回となるM-BIC2023を、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構と名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所の共催、内閣府及びデジタル庁の後援、9社の企業協賛を得て開催
- 書類選考を通過した全国12校の大学・大学院・高専から集まった14チームの学生が、協賛企業や協力省庁からも参加を得たワークショップや自動運転モビリティの試乗を通して、約3か月に渡る議論によりアイデアを共に深め、競い合う「共創型コンテスト」に挑戦



⑦ 法人としての活動体制等の強化

- 法人としての体制整備：理事会の開催（5回）、定期社員総会の開催（1回）、事務局員（非常勤）の増員（1名）
- 委員会活動：国際連携委員会の設置、開催（準備会も含め16回）
- 賛助会員の入会受け入れ：賛助会員の入会受付継続（対前年度比21会員増）、法人リーフレットの作成（12/20）

一般社団法人
モビリティ・イノベーション・アライアンス

我々が国では人口減・偏在、エネルギー問題、気候変動・災害激甚化等の課題がある中で、自動運転をはじめとする新たなモビリティの社会実装や多様なデータ連携・活用の実現を通して、生産性の向上、新産業創出、国際競争力の強化、人々の日々の生活における幸せの実現が求められています。

一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス（英称：Mobility Innovation Alliance Japan）は、内閣府・戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期「自動運転（システムとサービスの拡張）」の取組みの一環として行われた、23大学の学術関係者や公的機関等の連携体である「モビリティ・イノベーション連絡会議」の活動を引継ぎ、『移動の革新に関する技術開発や社会実装を牽引する会員主導の団体』となることを目指して設立されました。

2022年7月の設立以来、SIP-odusのレガシーを承継する国際ワークショップ企画・運営や自動運転をはじめとする新たなモビリティをテーマとした学生ビジネスプランコンテスト（M-BIC）の開催、現地研究会の実施など、会員とともに、多様な活動を展開しています。

＜活動内容＞

- 文理融合の学術ネットワーク承継・発展
- 分野横断型政策や取り組みを検討・提案
- 多様な産官学連携機会を生み出すワンストップ窓口
- 国際会議の企画・運営を通じた国際連携の促進
- 研究・技術開発を社会的行動変容へつなげる広報活動等
- 若手人材の育成を狙ったコンテスト等の開催

一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス
Mobility Innovation Alliance Japan

◆活動報告会・交流会の開催

文理融合の学術ネットワークの構築・発展、及び分野横断の融合知を高める活動として、活動報告会・交流会を開催しています。2023年5月の活動報告会では、SIP-odus サブプログラムディレクターを務められた、政策研究大学院大学の有本客員教授、及びSIP第3期「スマートモビリティプラットフォームの構築」プログラムディレクターの筑波大学の石田名譽教授より、特別講演をいただくとともに、会員の神奈川工科大学の井上特任教授、多摩大学の榎笠専任講師、広島大学の藤原教授からの話題提供と共に、事務局より2022年度活動内容及び2023年度事業計画の報告が行われました。

※ 2022年度活動報告書（概要版）：
https://mobilityinnovationalliance.org/wp-content/uploads/2023/06/FY2022_activity_report_summary-1.pdf

◆Mobility Innovation Week Japanの企画・運営

SIP-odusにおいて構築された国際連携ネットワークをレガシーとして承継し、また自動運転以外の分野における連携へも拡張すべく、2022年まで9年間にわたり継承されたSIP-odus Workshopを継承する「Mobility Innovation Workshop」を中心に、複数の関連する国際会議、技術ツアー等の機会を提供する「Mobility Innovation Week Japan」を企画・運営しています。2023年11月に開催したMobility Innovation Workshop 2023には海外からの参加者59名を含む、合計148名の専門家・関係者が参加し、安全性評価等の技術領域のみならず、社会実装性、ビジネスモデル等の非技術領域の議論・交流が数多く交わされました。また、現地視察等を通して日本の取り組みについて共有を図るとともに、専門家同士のネットワークの維持・拡大の機会を設けることができました。

◆現地研究会の実施

多様な産官学連携機会を生み出していく活動の一環として現地研究会を開催しています。2023年8月には、北海道上幌町及び更別村における自動運転バス運行サービス、ドローン運送サービス等について、現地で視察・試乗等を行いました。また、現地関係者との意見交換を行うことで、技術、事業面、社会面における成果及び課題について理解を深めるとともに、今後、モビリティ・イノベーションの社会実装に向け必要な研究等について参加会員による議論を行いました。

※ 第1回現地研究会報告書（概要版）：
https://mobilityinnovationalliance.org/wp-content/uploads/2023/08/2023-008_gench_kankyokushimuryo.pdf

◆学生ビジネスプランコンテスト（M-BIC）の企画・運営

新たなモビリティに関する若手人材の育成を目的とした「モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト」（M-BIC）を2022年から開催しています。第2回となるM-BIC2023は、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構と名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会実装研究の共催、内閣府及びデジタル庁の後援、9社の企業協賛を得て開催しました。書類選考を通過した全国12校の大学・大学院・高専から集まった14チームの学生が、協賛企業や協賛省庁の方々にもご参加いただいたワークショップや自動運転モビリティの試乗を通して、約3か月に渡る議論によりアイデアを共に深め、競い合う「共創型コンテスト」に挑みました。

※ M-BIC公式ウェブサイト：<https://m-bic.jan.gov.jp/>

◆研究開発事業の受託

新モビリティに関する政策、施策への分野横断型の提言に向け、また、多様な産官学連携機会を生み出すワンストップ窓口としての活動を因るため、本法人は東京大学モビリティ・イノベーション連携機構と共に、2023年度に開始された戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期事業の下、「スマートモビリティプラットフォームの構築に向けた国際的な研究連携・対外情報発信活動」を受託・実施しています。本事業において、わが国におけるモビリティサービスの再定義と社会実装に向けた戦略策定、インフラの・デザインに向けた研究開発、安全・快適・活気あふれる交通インフラ技術の開発、モビリティサービスを支えるデータ基盤構築等に向け、それぞれの実施主体と共に、国際的な研究連携を促進していく計画です。

◆活動報告会・交流会の開催

文理融合の学術ネットワークの構築・発展、及び分野横断の融合知を高める活動として、活動報告会・交流会を開催しています。2023年5月の活動報告会では、SIP-odus サブプログラムディレクターを務められた、政策研究大学院大学の有本客員教授、及びSIP第3期「スマートモビリティプラットフォームの構築」プログラムディレクターの筑波大学の石田名譽教授より、特別講演をいただくとともに、会員の神奈川工科大学の井上特任教授、多摩大学の榎笠専任講師、広島大学の藤原教授からの話題提供と共に、事務局より2022年度活動内容及び2023年度事業計画の報告が行われました。

※ 2022年度活動報告書（概要版）：
https://mobilityinnovationalliance.org/wp-content/uploads/2023/06/FY2022_activity_report_summary-1.pdf

◆Mobility Innovation Week Japanの企画・運営

SIP-odusにおいて構築された国際連携ネットワークをレガシーとして承継し、また自動運転以外の分野における連携へも拡張すべく、2022年まで9年間にわたり継承されたSIP-odus Workshopを継承する「Mobility Innovation Workshop」を中心に、複数の関連する国際会議、技術ツアー等の機会を提供する「Mobility Innovation Week Japan」を企画・運営しています。2023年11月に開催したMobility Innovation Workshop 2023には海外からの参加者59名を含む、合計148名の専門家・関係者が参加し、安全性評価等の技術領域のみならず、社会実装性、ビジネスモデル等の非技術領域の議論・交流が数多く交わされました。また、現地視察等を通して日本の取り組みについて共有を図るとともに、専門家同士のネットワークの維持・拡大の機会を設けることができました。

◆現地研究会の実施

多様な産官学連携機会を生み出していく活動の一環として現地研究会を開催しています。2023年8月には、北海道上幌町及び更別村における自動運転バス運行サービス、ドローン運送サービス等について、現地で視察・試乗等を行いました。また、現地関係者との意見交換を行うことで、技術、事業面、社会面における成果及び課題について理解を深めるとともに、今後、モビリティ・イノベーションの社会実装に向け必要な研究等について参加会員による議論を行いました。

※ 第1回現地研究会報告書（概要版）：
https://mobilityinnovationalliance.org/wp-content/uploads/2023/08/2023-008_gench_kankyokushimuryo.pdf

◆学生ビジネスプランコンテスト（M-BIC）の企画・運営

新たなモビリティに関する若手人材の育成を目的とした「モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト」（M-BIC）を2022年から開催しています。第2回となるM-BIC2023は、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構と名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会実装研究の共催、内閣府及びデジタル庁の後援、9社の企業協賛を得て開催しました。書類選考を通過した全国12校の大学・大学院・高専から集まった14チームの学生が、協賛企業や協賛省庁の方々にもご参加いただいたワークショップや自動運転モビリティの試乗を通して、約3か月に渡る議論によりアイデアを共に深め、競い合う「共創型コンテスト」に挑みました。

※ M-BIC公式ウェブサイト：<https://m-bic.jan.gov.jp/>

◆研究開発事業の受託

新モビリティに関する政策、施策への分野横断型の提言に向け、また、多様な産官学連携機会を生み出すワンストップ窓口としての活動を因るため、本法人は東京大学モビリティ・イノベーション連携機構と共に、2023年度に開始された戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期事業の下、「スマートモビリティプラットフォームの構築に向けた国際的な研究連携・対外情報発信活動」を受託・実施しています。本事業において、わが国におけるモビリティサービスの再定義と社会実装に向けた戦略策定、インフラの・デザインに向けた研究開発、安全・快適・活気あふれる交通インフラ技術の開発、モビリティサービスを支えるデータ基盤構築等に向け、それぞれの実施主体と共に、国際的な研究連携を促進していく計画です。

◆法人概要◆

設立日：2022年7月1日
所在地：〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学産技術研究所 Cw501
理事長：天野 肇（元ITS Japan 総理事、元東京大学学長特任教授）
副理事長：須田 義大（東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構 機構長、東京大学産技術研究所 教授）
理事（五十名順）：
内村 孝彦（東京大学産技術研究所 特任研究員、元ITS Japan 事務理事）
大口 敬（東京大学産技術研究所次世代モビリティ研究センター センター長、東京大学産技術研究所 教授）
三好 博昭（同志社大学政策学部 教授）
森川 高行（名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会実装研究センター 教授）

賛助会員：33会員（学術会員：23会員、特別会員：7会員、行政・事業者団体等会員：3会員）

学術会員（所属組織）
若手県立大学ソフトウェア情報学部、大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻、神奈川工科大学産技術連携機構、北見工業大学工学部情報通信系、京都先端科学大学オープンイノベーションセンター・福岡、慶應義塾大学モビリティイノベーション研究センター、埼玉工業大学自動運転技術開発センター、多摩大学経営情報学部、筑波大学システム情報系社会工学域、電気通信大学先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター、東京工業大学大学院機械系、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構、東京都市大学理工学部機械工学科、同志社大学政策学部、同志社大学モビリティ研究センター、名古屋大学大学院情報科学研究科附属組み込みシステム研究センター、名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会実装研究、日本大学産工学部自動運転工学リサーチ・センター、広島大学100C国際連携機構、福岡大学工学部電子情報工学科、法政大学社会学部、横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院、理化学研究所・革新知能統合研究センター

特別会員（所属組織）
アバード株式会社、イーピーエヌ株式会社、弁護士法人内田・般島法律事務所、株式会社コンブレ、scheme verge 株式会社、80LDLY 株式会社、株式会社三菱総合研究所

行政・事業者団体等会員（所属組織）
特定非営利活動法人 ITS Japan、柏市、和光市

公式ウェブサイト：<https://www.mobilityinnovationalliance.org/>

◆会員募集◆
（一社）モビリティ・イノベーション・アライアンスでは、取り組みの賛同し、協力いただける賛助会員を募集しています。入会希望の方は下記会員規則をご確認のうえ、事務局までご連絡をお願いいたします。

会員登録：<https://mobilityinnovationalliance.org/member-reg>
会費規程：https://mobilityinnovationalliance.org/membership_fee

◆連絡先◆
一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス事務局
E-mail: miaj-sec@its.iis.u-tokyo.ac.jp

(2023.12作成)

⑦ 法人としての活動体制等の強化

● 賛助会員数（2024年6月19日時点）

学術会員（組織）	: 9会員
学術会員（個人）	: 17会員
特別会員（組織）	: 9会員
特別会員（個人）	: 1会員
行政・事業者団体等会員（組織）	: 4会員
賛助会員計	: 40会員

2024年度活動計画の紹介

2024年度活動計画

2024年度の活動目標

- ① モビリティ・イノベーション連絡会議における文理融合学術ネットワークを構築・発展させる
- ② 分野横断型政策や取り組みを検討・提案する
- ③ 多様な産学官連携機会を生み出すワンストップ窓口として活動する
- ④ 国際会議の企画・運営を通じた国際連携研究の促進を図る
- ⑤ 研究・技術開発を社会の行動変容へつなげる広報活動を行う
- ⑥ 若手人材の育成を狙いとしたコンテスト等を支援する
- ⑦ 法人としての活動体制等の強化を図る

- ① モビリティ・イノベーション連絡会議における文理融合学術ネットワークを構築・発展
 - 多様な分野の会員拡大に向けた働きかけ
 - モビリティ・イノベーション連絡会議の開催（SIP第3期スマートモビリティプラットフォームの構築の施策と併せる形で開催）
 - 委員会活動による文理融合型取り組み研究テーマ、国際連携に関する議論の場づくり

- ② 分野横断型政策や取り組みの検討・提案
 - SIP 第3期事業への参画を通じた新モビリティに関する政策、施策に関する情報収集及び会員への情報提供、提言に向けた検討

2024年度活動計画

③ 多様な産学官連携機会を生み出すワンストップ窓口として活動

- 現地視察会の企画・実施

【第2回現地研究会】2024年年末頃を予定

- 会員向け情報共有イベント、交流会等の開催による産学官連携機会の創出

④ 国際会議の企画・運営を通じた国際連携研究の促進

2024年11月11日-14日に「Mobility Innovation Week Japan 2024」を開催すべく調整・準備中



	Date	Agenda	
Mobility Innovation Week Japan 2024	11/11 Mon	Relevant meetings	
	11/12 Tue	Technical Visit 2024 VISON / BOLDLY site visit + Gifu city visit	
	11/13 Wed	Mobility Innovation Workshop	Plenary Session + Reception @Nagoya University
	11/14 Thu		Breakout Workshops @Nagoya University

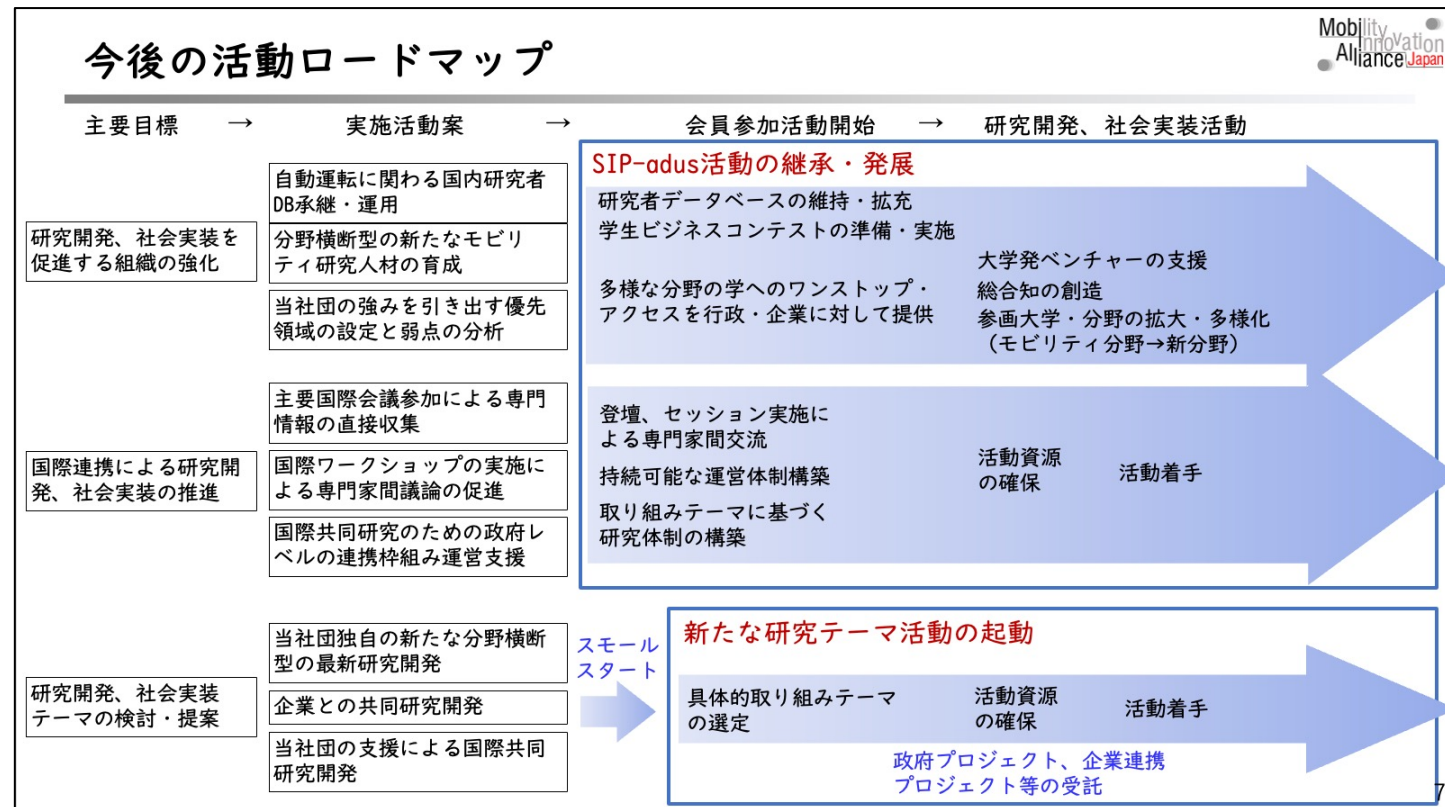
2024年度活動計画

⑥ 若手人材の育成を狙いとしたイベント等の支援

「モビリティを活用したビジネス・イノベーション・コンテスト(M-BIC) 2024」の支援

⑦ 法人としての活動体制等の強化

モビリティ・イノベーション・アライアンス中期ロードマップの策定



ご清聴ありがとうございました。

一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス

ウェブサイト：<https://mobilityinnovationalliance.org/>

お問合せ先： miaj-sec@its.iis.u-tokyo.ac.jp